

【7月・2歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢／男児／活発) (3歳3カ月／4月生まれ)	Bさん(高月齢／女児／活発) (3歳2カ月／5月生まれ)	Cさん(高月齢／男児／静か) (3歳1カ月／6月生まれ)	Dさん(高月齢／女児／静か) (3歳0カ月／7月生まれ)
子どもの姿	1. 日中はパンツで過ごしており、タイミングが合うと、トイレで排尿する姿が見られる。 2. 友だちを誘いながら、かけっこなどの体を動かす遊びを楽しんでいる。 3. 咳や鼻水などの症状が見られており、夕方になると機嫌が悪くなる姿が見られる。	1. 登園時は担任の保育者が迎えると落ち着いて部屋に入ることができるが、他の保育者に対しては大声で泣いたり、手を振り払って怒ったりする様子が見られる。 2. 水遊びでは、ジョウロやペットボトルで水をずくって遊び、友だちに声をかけながら関わる姿が見られる。 3. 家庭と連携してトイレトレーニングを進めているが、「オムツがいい」と言ってパンツを嫌がることもある。		
ねらい	1. 排泄のタイミングをつかみ、自信を持ってトイレに向かう 2. 友だちと一緒に、全身を使って遊ぶ心地良さを味わう	1. 安心できる保育者との関わりの中で、園生活に見通しを持って過ごす 2. 水遊びを通して、友だちとのやりとりを楽しむ		
内容	1. 保育者にトイレに誘われることで、排泄の感覚に気づく。 2. 園庭やホールでのかけっこや簡単な運動遊びを楽しむ。	1. 担任の保育者に見守られながら、朝の流れや活動内容を聞いて一日の見通しを持つ。 2. 友だちと水のかけ合いや道具の貸し借りをしながら遊ぶ		
環境構成 配慮 援助	1. 午前中は排泄の間隔が安定しているため、「Aさん、そろそろ行ってみようか」と声をかけ、成功した際には「トイレでできたね！気持ちよかったね」と言葉での達成感を伝えるようにする。失敗しても「次は出る感じがしたら教えてね」と安心できる声がけをし、自信につなげる。 2. 園庭では友だちを誘って活発に遊ぶ姿が見られるため、広いスペースで追いかけてくることができるように環境を整えていく。また、体調を考慮して、水分補給や休息のタイミングもこまめにとる。	1. 登園時はできるだけ担任が対応し、「おはよう、待ってたよ」と温かく声をかけて迎えたり、他の保育者と関わる際は、担任が間に入り「一緒に遊ぼうね」とつないでいることで、安心できる環境を作る。気持ちが悪く落ち着いたタイミングで他の保育者とも短時間から関われるようにし、少しずつ関係を築けるようにする。 2. 水遊びでは「楽しそうだね」等と声をかけ、やりとりの楽しさに共感する。道具の取り合いが起きた際には、「順番に使ってみようか」などと促しながら、友だちとの関わりを援助し、水のかけ合いなどが過度にならないよう見守る。		
食事	・苦手な食材も口に入れようとする意欲が見られている。 ・口の中にため込んでしまうこともあるため、「ゆっくりでいいよ」「お水で流してみようか」と促しながら、安心して食べ進められるように援助する。	・苦手な食材には表情を曇らせることがあるが、「匂いはどんな感じかな？」等、五感を使った関わりをしながら、少しずつ食材に慣れていけるようにする。 ・意欲的に食べ進める姿を認め、食事の時間が楽しいと感じられるようにしていく。		
家庭との連携	3. 本児の疲れが夕方に出やすいことから、日中の活動の様子や休息の取り方について家庭と情報を共有し、無理のない生活リズムを一緒に考えていく。 ・園での友だちとの関わりや遊びの様子を伝えることで、家庭でも話題にしてみたい、安心感につながるようにしていく。	3. トイレトレーニングについて、家庭と園での様子をこまめに共有し、進め方や声かけの仕方に一貫性を持たせていく。 ・登園時の不安定さについても、家庭での様子を聞きながら、安心して過ごせる関係づくりに取り組んでいく。		
評価・反省	1. トイレでは声がけによって自ら行く姿が増え、成功するたびに「できたね」と伝えることで、自信につながっている。引き続き混雑を避けるなどの環境配慮をしながら、安心して排泄できるよう関わっていききたい。 2. かけっこなど友だちと一緒に体を動かす遊びを楽しみ、名前を呼び合う姿が見られた。まだ体調が万全でない日もあるため、無理のない範囲で遊びを調整しつつ、友だちと関わる楽しさを味わえるよう援助していききたい。	1. 担任の姿を見て安心する姿が続いており、信頼関係が築かれている様子が見られた。他の保育者とはまだ距離があるため、担任が仲介しながら少しずつ関係が深まるよう関わっていききたい。 2. 水遊びでは友だちの名前を呼びかけたり、やりとりを楽しんだりする姿が見られた。遊びの中での関わりを通して、人とのやりとりの楽しさをさらに感じられるようにしていききたい。		

無料版：2名分



有料版の
"おまもりプラス"
は12名分が
閲覧＆DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい／内容／環境構成・配慮・援助／評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記：ウェブサイトにも当社方針を記載しております。

ほいくのおまもり Plus!

ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円＋税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確認してみてくださいね。



文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。